

第23期
中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

CYBERNET

サイバネットシステム株式会社

CAEのリーディングカンパニーとして

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの主力のビジネスであるCAE (Computer Aided Engineering) ソリューションサービスは、「製造業のものづくり」における研究開発、設計、生産、保守といったほぼ全ての工程で利用されており、CAEのデジタル技術は、「ものづくり」においては、なくてはならないものとなっております。

しかしながら、昨今、製品が非常に多機能化・小型化・複雑化しており、お客様から当社グループへの要望も年々、高度化・複雑化してまいりました。単に海外の優れたCAE商品を輸入して販売・サポートするというビジネスでは、お客様に満足いただくことはできません。

当社グループはこの高度化した要望に応えるため、複数のCAEソフトウェアを組み合わせてお客様の課題を解決する「マルチプロダクトソリューション」をはじめとし、コンサルティング・受託解析サービスへの本格的な取り組みや、自社製品の開発を進めてまいりました。これをさらに確かなものにし、発展すべく、分散していた事務所を集約し、部門間の連携を強化するため、秋葉原へ本社を移転いたしました。

また、CAEのリーディングカンパニーとして、お客様の「ひとつづくり」を支援、つまり、CAE技術者育成を目的とし、当社グループの念願であった「CAEユニバーシティ」をこの秋に設立いたしました。

これは、CAE技術者が、CAEツールを「使える」から「使いこなせる」ようになることを支援する体系的学習プログラムであり、当社が扱っているCAEツールに限らず、多様なCAEツールで応用できる内容となっております。

当社グループは今後も、「つくる情熱を、支える情熱。」をコーポレートメッセージとし、CAEを中心としたデジタルエンジニアリングとITソリューションの提供を通じて、お客様の「つくる情熱」と「ひとつづくり」を支えてまいります。

今後とも、何卒一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



2007年11月
代表取締役社長

田中 邦明

当中間連結会計期間において、当社グループは、「ものづくり支援におけるワンストップソリューションの実現」のため、付加価値向上に結びつく多様なソリューション提案を継続的に推進してまいりました。CAEソリューション事業の拡大に向けては、新規商品の発掘および自社製品の開発や機能アップに積極的に取り組んでまいりました。CAEにおけるサービス事業の拡大については、大企業向け産学共同研究・開発への積極的参画ならびに受託解析を中心としたエンジニアリングサービスの推進に注力してまいりました。また、「ひとつづくり支援」では、中長期的視点によるCAEエンジニアの養成を目的とした教育プログラムを提供する「CAEユニバーシティ」を10月22日から開講いたしました。

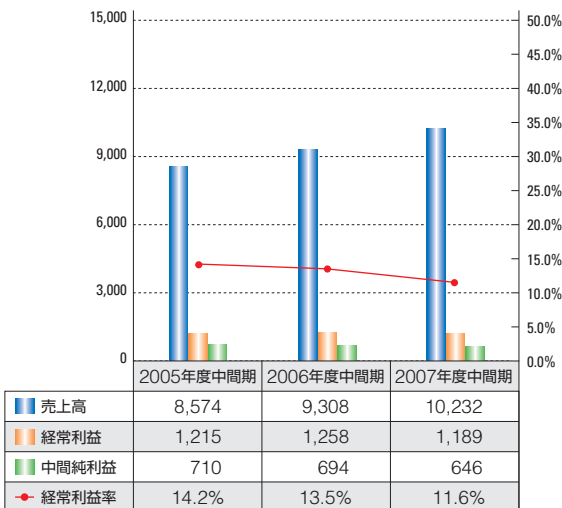
当中間期の売上高は、第2四半期の後半に受注の伸び悩みが一部でみられたものの、一般的に堅調に推移し、計画を若干上回ることができました。経費面では、当中間期に本社移転を実施し、その一過性費用等により大幅な経費の増加となりましたが、業務の効率化ならびに経費圧縮に努め、期前計画の営業利益、経常利益を共に達成することができました。

なお、子会社株式における投資額を再評価したところ、今後の業績回復は確かなものの、当初の投資額回収計画期間内の回収が見込まれないことから、子会社株式の評価損を特別損失として272百万円計上しております。これに伴い、連結会計において、「のれん」の一括償却を行い、特別損失として計上しております。この子会社の株式評価損につきましては、期初計画にその可能性を見込んでおり、計画に対する中間純利益への影響はありませんでした。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は102億32百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は10億61百万円（前年同期比2.6%減）、経常利益は11億89百万円（前年同期比5.4%減）、中間純利益は6億46百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

売上高・経常利益・中間純利益・経常利益率の推移（連結）

(単位：百万円)



●中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	前中間連結会計期間末	当中間連結会計期間末
		平成18年9月30日現在	平成19年9月30日現在
資産の部			
流動資産		12,311,080	11,371,316
固定資産		1,865,410	3,805,015
有形固定資産		310,211	570,712
無形固定資産		929,515	787,864
投資その他の資産		625,683	2,446,438
資産合計		14,176,490	15,176,332
負債の部			
流動負債		4,220,309	4,158,120
固定負債		422,816	478,046
負債合計		4,643,125	4,636,167
純資産の部			
株主資本		9,473,665	10,443,124
資本金		995,000	995,000
資本剰余金		909,000	909,000
利益剰余金		8,259,070	9,203,314
自己株式		△689,405	△664,190
評価・換算差額等		58,062	96,377
その他有価証券評価差額金		58,062	101,075
繰延ヘッジ損益		—	△4,698
少数株主持分		1,636	662
純資産合計		9,533,364	10,540,164
負債純資産合計		14,176,490	15,176,332

●中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
		自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
売上高		9,308,810	10,232,515
売上原価		5,832,775	6,288,362
売上総利益		3,476,035	3,944,153
販売費及び一般管理費		2,386,671	2,882,903
営業利益		1,089,363	1,061,250
営業外収益		169,150	128,924
営業外費用		297	249
経常利益		1,258,216	1,189,926
特別利益		4,363	—
特別損失		15,810	142,949
税金等調整前中間純利益		1,246,769	1,046,976
法人税、住民税及び事業税		587,678	414,357
法人税等調整額		△35,395	△14,241
少数株主損失		509	109
中間純利益		694,996	646,970

※1 西希安工程模倣軟件（上海）有限公司および苜益博設計系統商貿（上海）有限公司は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、中間純損益（持分に見合う額）および利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも中間連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除外しております。

●中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

(単位：千円)

科目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	995,000	909,000	8,849,779	△676,363	10,077,416
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△285,299		△285,299
中間純利益			646,970		646,970
自己株式の処分			△8,135	12,172	4,036
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	353,535	12,172	365,707
平成19年9月30日残高	995,000	909,000	9,203,314	△664,190	10,443,124

科目	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益		
平成19年3月31日残高	65,407	△15,952	772	10,127,644
中間連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当				△285,299
中間純利益				646,970
自己株式の処分				4,036
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）	35,667	11,253	△109	46,812
中間連結会計期間中の変動額合計	35,667	11,253	△109	412,520
平成19年9月30日残高	101,075	△4,698	662	10,540,164

●中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期別	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
		自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		662,860	333,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,849,482	20,253
財務活動によるキャッシュ・フロー		△217,511	△279,808
現金及び現金同等物に係る換算差額		3,803	△95
現金及び現金同等物の増減額		△1,400,329	74,237
現金及び現金同等物の期首残高		3,081,608	2,018,570
現金及び現金同等物の中間期末残高		1,681,278	2,092,808

※2 連結子会社のうち株式会社プラメディアの中間決算日は、6月30日であります。中間連結財務諸表の作成にあたっては、中間決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、中間連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

■個別中間財務諸表

●中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	前中間会計期間末	当中間会計期間末
		平成18年9月30日現在	平成19年9月30日現在
資産の部			
流動資産		11,559,892	10,501,726
固定資産		1,983,228	3,785,195
有形固定資産		292,519	553,481
無形固定資産		597,244	592,067
投資その他の資産		1,093,465	2,639,647
資産合計		13,543,121	14,286,922
負債の部			
流動負債		3,555,913	3,440,324
固定負債		411,914	459,799
負債合計		3,967,828	3,900,124
純資産の部			
株主資本		9,517,256	10,290,446
資本金		995,000	995,000
資本剰余金		909,000	909,000
利益剰余金		8,302,662	9,050,636
自己株式		△689,405	△664,190
評価・換算差額等		58,036	96,351
その他有価証券評価差額金		58,036	101,049
繰延ヘッジ損益		—	△4,698
純資産合計		9,575,293	10,386,797
負債純資産合計		13,543,121	14,286,922

●中間損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	前中間会計期間	当中間会計期間
		自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
売上高		8,092,258	9,151,860
売上原価		4,906,792	5,577,127
売上総利益		3,185,466	3,574,733
販売費及び一般管理費		2,011,452	2,471,801
営業利益		1,174,014	1,102,932
営業外収益		152,306	114,536
営業外費用		43	53
経常利益		1,326,276	1,217,414
特別利益		4,363	—
特別損失		15,810	275,634
税引前中間純利益		1,314,830	941,779
法人税、住民税及び事業税		585,698	412,374
法人税等調整額		△35,392	△13,531
中間純利益		764,524	542,936

●中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

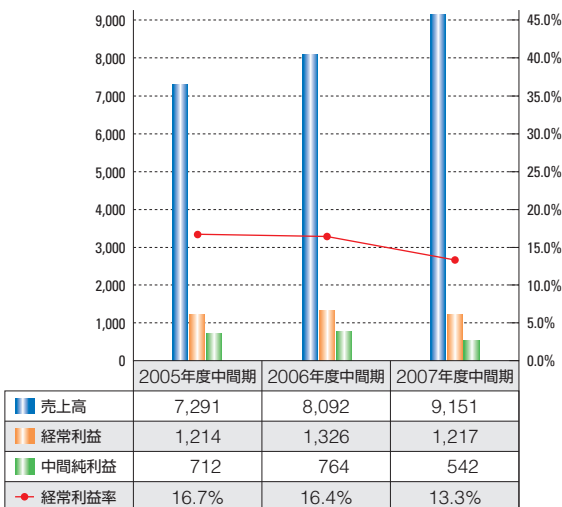
(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			利益剰余金 合計
			利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	
平成19年3月31日 残高	995,000	909,000	71,960	6,090,000	2,639,174	8,801,134
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当					△285,299	△285,299
中間純利益					542,936	542,936
自己株式の処分					△8,135	△8,135
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額 (純額)						
中間会計期間中の 変動額合計	—	—	—	—	249,501	249,501
平成19年9月30日 残高	995,000	909,000	71,960	6,090,000	2,888,676	9,050,636

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損 益	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日 残高	△676,363	10,028,771	65,381	△15,952	49,429	10,078,201
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当		△285,299				△285,299
中間純利益		542,936				542,936
自己株式の処分	12,172	4,036				4,036
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額 (純額)			35,667	11,253	46,921	46,921
中間会計期間中の 変動額合計	12,172	261,674	35,667	11,253	46,921	308,596
平成19年9月30日 残高	△664,190	10,290,446	101,049	△4,698	96,351	10,386,797

売上高・経常利益・中間純利益・経常利益率の推移（個別）

(単位：百万円)

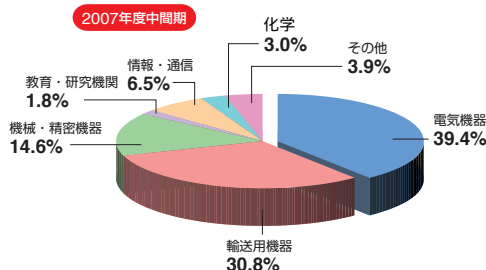
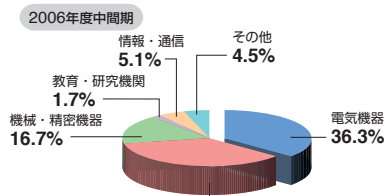


■個別業績の概況

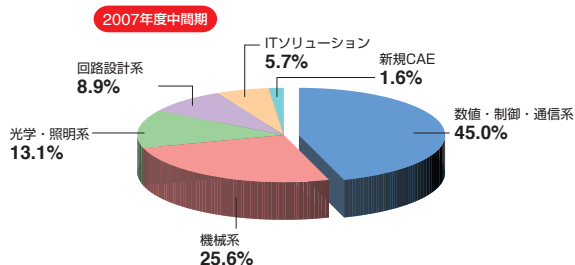
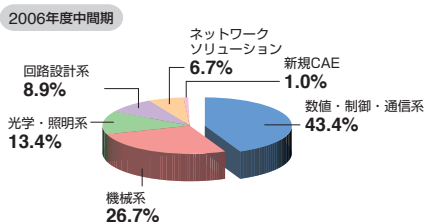
■当中間期のトピックス

業種別売上高シェア

※売上高上位50社における比率



応用分野別売上高シェア



◇ 本社事務所を産学共同推進地区として発展が予定される「秋葉原」へ移転

◇ CAEエンジニアが、CAEツールを「使える」から「使いこなせる」になることを支援する体系的学習プログラム「CAEユニバーシティ」がスタート



これに伴い、特設サイトを開設

<http://www.cae-univ.com/>

◇ 2007年度日経優良企業ランキング

(2007年9月18日付 日本経済新聞社)

全国上場企業2,340社（金融、新興市場除く）を調査

総合	規模	収益性	安全性	成長力
224位	—	112位	73位	—

◇ 2006年度ソリューションプロバイダ業績ランキング

(日経ソリューションビジネス 2007年7月15日号)

2006年度売上高が100億円以上の167社の業績をランキング

売上高	成長性	収益力	生産性	経営効率	株式時価総額
122位	49位	7位	4位	10位	47位

■グループ会社紹介

◇ 株式会社 ケイ・ジー・ティー

所在地：東京都新宿区

事業内容：科学技術計算分野への可視化ソフトウェア、医用画像処理ソフトウェア、ネットワークセキュリティソフトウェア、内部統制管理システムの開発・販売と運用に関するコンサルティング



▶ 同社に関する詳細情報は、こちらよりご覧いただけます。

☎ <http://www.kgt.co.jp/>

◇ 株式会社 プラメディア

所在地：東京都中野区

事業内容：樹脂流動解析、成形解析ソフトウェアの開発・販売、受託研究、高分子材料の物性、成形性に関する研究開発、ソフト開発



▶ 同社に関する詳細情報は、こちらよりご覧いただけます。

☎ <http://www.plamedia.co.jp/>

◇ 西希安工程模擬軟件(上海)有限公司

所在地：中華人民共和国上海市

事業内容：中国におけるCAE教育、受託解析、コンサルティング、プロダクト販売を含めたCAEトータルソリューション提供



▶ 同社に関する詳細情報は、こちらよりご覧いただけます。

☎ <http://www.cca-es.com/jp/>

◇ 莎益博設計系統商貿(上海)有限公司

所在地：中華人民共和国上海市

事業内容：中国におけるEDAおよび光学ソフトウェアの販売、サポート、教育、コンサル、受託設計等



■商号 **サイバネットシステム株式会社**

東証第一部 (証券コード番号: 4312)
(英文表記: CYBERNET SYSTEMS CO., LTD.)

■所在地

本社 〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地
富士ソフトビル
西日本支社 〒540-0028 大阪府大阪市中央区常盤町一丁目3番8号
中央大通FNビル
中部支社 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦一丁目6番26号
富士ソフトビル

■設立

1985年 (昭和60年) 4月17日

■資本金

9億9,500万円

■役員

代表取締役社長	田中邦明
専務取締役	三平久悦
常務取締役	高橋宏
取締役	溝口陽一
取締役	重光貴明
常勤監査役	野村吉晴
監査役	立田三彦
監査役	木元元覚

(注) 監査役 立田三彦 および 木元元覚 の両氏は、社外監査役であります。

■事業内容

- 制御設計、構造解析、光学設計、電子回路設計、熱流体解析、機構解析、音響解析、プリ・ポスト処理、数式処理、シミュレーション言語、通信等多岐にわたる世界一流のCAEソフトウェアならびにITソリューション関連ソフトウェアの販売
- 各種セミナーをはじめとするユーザー教育、技術サポートおよび受託解析・コンサルティング等のプロフェッショナルサービスの提供、ならびにインターフェース、モデルおよび解析モジュール等の開発

■株式の状況

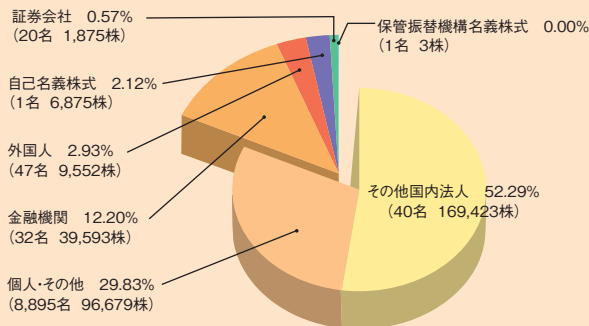
発行可能株式総数	1,296,000 株
発行済株式の総数	324,000 株
株主数	9,036 名

■大株主の状況

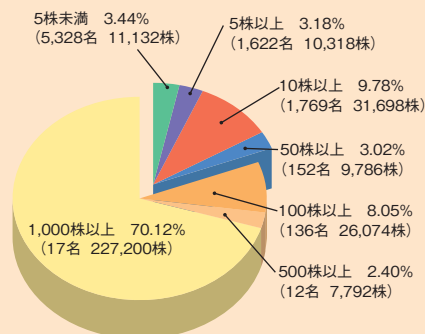
株主名	持株数 (株)	議決権比率 (%)
富士ソフト株式会社	168,075	53.00
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	10,181	3.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	9,920	3.13
井上恵久	4,404	1.39
サイバネットシステム社員持株会	3,786	1.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,303	1.04
資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託A口)	3,291	1.04
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金特金口)	2,435	0.77
井口忠之	2,430	0.77
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・ピーエルシー	2,090	0.66


(注) 上記の他に、当社は自己株式6,875株を保有しております。

■所有者別株式分布状況



■所有株式数別株式分布状況





当社のホームページにてより詳しいIR情報をご覧いただけます。

個人投資家様向けのメールサービスを実施しています。

こちらへご登録いただきますと、東京証券取引所に対して適時開示した会社情報やIR活動案内等をインターネット・メールにて随時お知らせいたします。

https://www.cybernet.co.jp/forms/ir_mail/

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	毎年3月31日および9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所 (郵便物送付先) (電話お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公 告 方 法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL (http://www.cybernet.co.jp/)

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4312

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールにより URL 自動返信

kabu@wjw.jp へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用の URL が直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

R100
古紙パルプ配合率100%
再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOYINK
地球環境に配慮した大豆油
インキを使用しています